

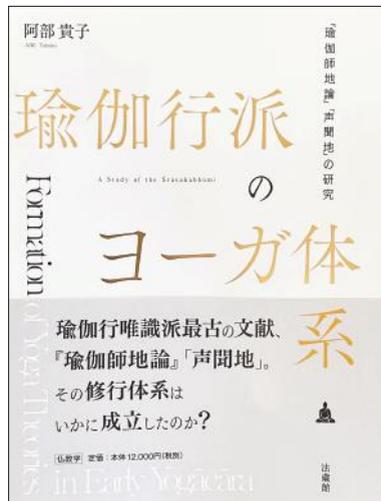
瑜伽行派のヨーガ体系

『瑜伽師地論』『声聞地』の研究

あべ たかこ

阿部貴子 著 ▼A5判・上製カバー・568頁 定価 1,310,000円

2023年4月刊行



インド瑜伽行唯識派のヨーガを説いた最古の文献、『瑜伽師地論』『声聞地』。その修行体系はいかに成立したのか。諸文献や他学派との関わりから網羅的に考察した画期的研究。

【目次】

はしがき

序論

- 第1章 『瑜伽師地論』研究に関する概要
- 第2章 『声聞地』の先行研究と問題の所在

本論

第I部 『声聞地』のヨーガ体系

- 第1章 『声聞地』における yōgacāra
- 第2章 止・拳・捨と止観の関係…転依思想の形成に関連して
- 第3章 「第一瑜伽処」の根律儀と纏・随眠説：『サウンダラナンダ』と譬喩者／経量部
- 第4章 「第二瑜伽処」を中心とした『法蘊足論』との関連性
- 第5章 止観に関する「第二瑜伽処」と「第三瑜伽処」の比較
- 第6章 『声聞地』の種子説…世親の所説をめぐって

第II部 五停心観の考察…阿含經典・阿毘達磨論書・禅經典との比較

- 序章 先行研究と研究方法
- 第1章 不浄観
- 第2章 慈愍観
- 第3章 縁性縁起観
- 第4章 界差別観
- 第5章 入出息念

結論

附論

- 附論1 「思所成地」体義伽陀(Sarīrārhagāthā)と『声聞地』
- 附論2 『禪秘要法経』における不浄観と浄観
- 附論3 『梵文瑜伽書』(Yogalekhach)の出入息念…初期密教文献との関連

使用テキストと略号および参考文献

English Summary and Brief Contents

索引

◆著者略歴

阿部貴子(あべ たかこ)

一九七〇年、東京都生まれ。一九九二年、早稲田大学社会科学部卒業。二〇〇二年、大正大学大学院文学研究科仏教学専攻博士課程満期退学。二〇二一年、博士(文学)早稲田大学。現在、大正大学仏教学部准教授、智山伝法院非常勤教授。

主要論文に、『Samatha and Vipāśyanā in the Śrāvakāhīni』(『Śrāvakāhīni and Buddhist Manuscript』(コンプル社、二〇一七年))、共著に『瑜伽論声聞地 第二瑜伽処——サンスクリット語テキストと和訳』(山喜房佛書林、二〇〇七年)、『瑜伽論声聞地 第三瑜伽処——サンスクリット語テキストと和訳』(山喜房佛書林、二〇一八年)、その他「明治期真言宗の大学林教育——普通学導入をめぐる議論」(『シリーズ大学と宗教1 近代日本の大学と宗教』(法藏館、二〇一四年))等がある。

注文書	書店印)
様冊	ご担当
法藏館	阿部貴子著
定価 1,310,000円	『瑜伽行派のヨーガ体系』
住所	『声聞地』の研究
お電話	ISBN: 978-4-8318-6396-6 C3015
お名前	

ご注文はFAX: 075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

仏教学